

川越市民の会　小林（こばやし）　薫（かおる）

令和９年川越市議会選挙　13

問 令和９年川越市議会議員選挙において、自治会等の補助金交付団体が特定の候補者を応援することに対して、市長の考えは。

答 市長　補助金交付団体は独自の目的で自主的に活動しており、個々の団体の判断に委ねられるものと考える。





闘 夏季ラジオ体操　　闘 令和９年統一地方選挙



川越市民の会　小林（こばやし）　透（とおる）

サッカー少年団の活動環境　14

問 こどもたちがスポーツ活動をする場所の現状の実態を検証し、具体的な改善策を講じていく考えがあるのか伺いたい。

答 文化スポーツ部長　スポーツ活動の場は、屋内外それぞれあり、市立小中学校の施設活用や公共施設の利用のみでは十分に対応できていないものと考えている。また、活動場所の改善策については、複数のサッカー少年団からの活動場所に関する要望を踏まえ、施設の有効な利用方法、必要な改善策を検討するため、まずは、各施設等の利用実態の把握に努めていきたい。

闘 スポーツ少年団の諸問題



公明党　田畑（たばた）たき子（こ）

女性の視点を生かす防災力　15

問 女性の視点を避難所運営などに反映させるため、地域で活動する女性防災士と連携することについて伺う。

答 危機管理監　女性防災士が女性ならではの視点で避難所の環境改善やきめ細かな防災啓発を行うことで、今後、活躍の場が増えると認識している。災害現場では、安全面や心身の健康、救援物資などで男女のニーズの違いが配慮されない課題があり、防災・減災を推進し、災害に強いまちを実現するには、それぞれの視点が必要である。このため、女性防災士を含めた防災士との連携については、自助、共助を促進させるためにも、防災講話や防災訓練の機会を捉え、活躍の場の提供を検討していきたい。

闘 女性が働きやすい職場　　闘 女性視点の防災力の向上



公明党　桐野（きりの）　忠（ただし）

民地の危険木の対策　16

問 民地の危険木による倒木等を未然に防止し、市民の生命と安全を守るため、具体的な対策を講じていく考えはあるか伺いたい。

答 市長　民地からの危険木への対応について、現在は道路法の枠組みの中で対応を行っているところだが、さまざまな状況に応じた本市独自の仕組みづくりについて、今後、関係部署と連携しながら対応方針を検討していく。



闘 市内樹木等の管理　　闘 災害用給水井戸と受水槽



初雁自由政令会　海沼（かいぬま）秀幸（ひでゆき）

久保川大田街道排水対策を　17

問 地域住民の大雨への不安を早期に解決するため、大田街道の排水対策を重点的かつ早期に進めるべきと考えるが、市の決意を伺う。

答 市長　久保川の整備は、これまでの取り組みにより流下能力が向上し、一定程度の整備効果が発現されていると認識しているが、上流部の大田街道から久保川への排水対策についても、今年度末を工期とする道路工事を執行し、重点的に進めている。

今後も、久保川全体の状況をしっかりと捉え、流域の市民の安全・安心を守るため、治水安全度の向上を図る整備を推進していく。

闘 安心安全なまちづくり



川越志政会　中野（なかの）敏浩（としひろ）

街路樹による日陰の創出　18

問 地球温暖化への対応や熱中症対策の視点から道路舗道整備において、街路樹による日陰の創出は重要であり、市として取り組むべき課題と考えるが、市の認識を伺う。

答 西川副市長　道路の街路樹は、直射日光を遮断するだけでなく、地面からの照り返しや路面温度の上昇を緩和する機能を有しており、地球温暖化への対応や熱中症対策の視点から街路樹の必要性が考えられる。一方で、道路交通の支障とならない視界を確保するため、樹木の成長に合わせた剪定（せんてい）など適切な維持管理が難しいという側面もある。これらのバランスを十分に精査した上で、道路整備において、街路樹の植樹を検討していきたい。

闘 熱中症対策の現状と今後